

管内月間火山概況（平成 27 年 11 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況

硫黄鳥島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

24 日に気象庁が海上から実施した観測では、従来から認められている噴気の状態に特段の変化は認められませんでした。

29 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、硫黄岳火口内では特段の変化は認められませんでした。グスク火山の北側火口壁及び火口内で白色噴気が認められました。

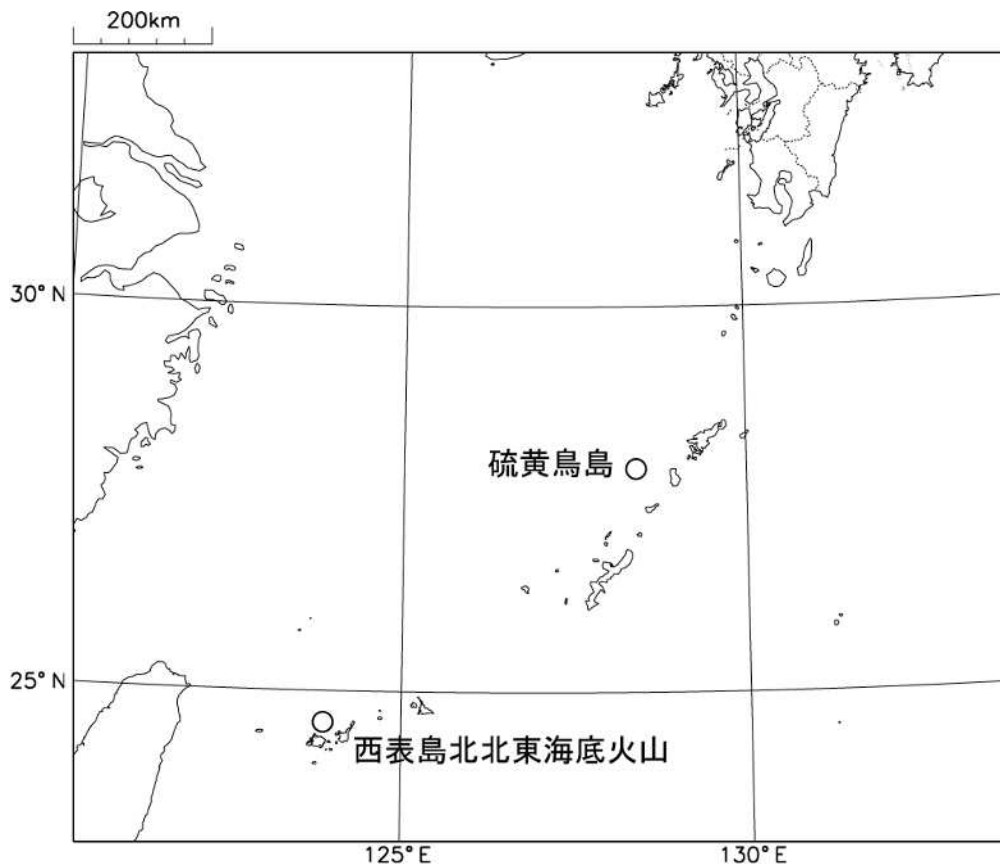
硫黄鳥島の西側海岸線に沿って長さ約 500m、幅約 150m、東海岸中央付近の海岸線に沿って長さ約 300m、幅約 50m の青白色の変色水が認められました。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

5 日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、周辺の海域に特段の変化は認められませんでした。

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 27 年 12 月分）は平成 28 年 1 月 12 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。